

21 日 獣 発 第 188 号

平成 21 年 10 月 29 日

地方獣医師会会長 各位

社団法人 日本獣医師会

会 長 山 根 義 久

(公印及び契印の押印は省略)

新型インフルエンザに関する正しい知識の普及等について

このことについて、平成 21 年 10 月 21 日付け 21 消安第 8323 号、21 総合第 1285 号及び 21 生畜第 1261 号をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課長、総合食料局食品産業振興課長及び生産局畜産部食肉鶏卵課長の連名で別添写しのとおり通知がありましたので、貴会関係者への周知をお願いします。

なお、このたびの通知は、豚肉・豚肉加工品により新型インフルエンザが人に感染する可能性はないという、食品安全委員会委員長の見解のほか、世界保健機構（WHO）等の国際機関からの同様の声明に鑑み、今回、我が国の豚における感染事例の発生により豚肉の安全性に問題があるかのような告知や、安全性を理由として豚肉商品の販売停止等が行われることのないよう、引き続き本病に関する正確な知識の普及について、本会会員への協力を求めたものです。

(注) 本件内容の問い合わせは、駒田事務局主任までお願いします。



21 消安第 8323 号
21 総合第 1285 号
21 生畜第 1261 号
平成 21 年 10 月 21 日

社団法人日本獣医師会会長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長
総合食料局食品産業振興課長
生産局畜産部食肉鶏卵課長

新型インフルエンザに関する正しい知識の普及等について

平素より、食肉に関する正確な情報の伝達や適切な流通の確保につき御理解及び御協力を賜り、御礼申し上げます。

今般、我が国において、豚における新型インフルエンザの感染事例が確認されましたが、別添のとおり、豚肉の安全性に関する食品安全委員会委員長の見解が公表されているところです。この見解によれば、豚肉・豚肉加工品を食べることにより、新型インフルエンザが人に感染する可能性はなく、豚肉・豚肉加工品は「安全」であるとされています。

また、世界保健機関（WHO）等の国際機関も同様の声明を出しております。

農林水産省といたしましても、新型インフルエンザ関係情報を随時当省ホームページに掲載していくほか、豚肉の安全性に関する消費者及び流通業者等への情報提供を含め、正確な情報の提供に努めることとしております。

貴会におかれましても、豚肉の取扱いについては、今回の感染事例の発生により豚肉の安全性に問題があるかのような告知や、安全性を理由とした豚肉商品の販売停止等が行われることのないよう、引き続き、本病に関する正確な知識の普及について、会員の皆様への周知につき特段の御配慮をいただきますようお願い申し上げます。



大阪府における豚への新型インフルエンザの感染事例について

本日、大阪府の養豚農場の豚から分離されたウイルスは現在国内で流行している新型インフルエンザウイルスであることが確認されました。

当該農場に対して、臨床検査、遺伝子検査により異常がないことが確認されるまで、飼養豚の移動を自粛するよう要請しました。

なお、世界保健機関（WHO）等の国際機関によれば、適切に処理された豚肉を人が食べてインフルエンザに感染することはありません。

1. 経緯

大阪府の養豚農場で分離されたインフルエンザウイルスについて、（独）農研機構動物衛生研究所が、H 亜型検査（遺伝子解析）及び N 亜型検査（遺伝子解析）を実施した結果、本ウイルスは、H1N1 亜型であり、現在国内で流行している新型インフルエンザウイルスと同一であることが本日確認されました。

2. 対応

大阪府において、当該農場に対して、臨床検査、遺伝子検査（PCR 検査法）により異常がないことが確認されるまで、飼養豚の移動を自粛するよう要請しました。

なお、当該農場からと畜場へは、検査で陰性を確認した豚のみを出荷することとしています。

報道機関へのお願い

1. 現場での取材は、本病の豚への感染を引き起こすおそれもあることから、厳に慎むようお願いいたします。
2. 今後とも、本病に関する情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、ご協力をお願いいたします。

世界保健機関（WHO）等の国際機関によれば、適切に処理された豚肉を人が食べてインフルエンザに感染することはありません。

お問い合わせ先

消費・安全局動物衛生課

担当者：伏見、嶋崎

代表：03-3502-8111（内線 4582）

ダイヤルイン：03-3502-8292

FAX：03-3502-3385

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>

新型インフルエンザに関する食品安全委員会委員長の見解

豚肉・豚肉加工品は「安全」と考えます。

- 豚肉・豚肉加工品を食べることにより、新型インフルエンザがヒトに感染する可能性は、以下の理由からないものと考えています。
 - ・豚肉は、従来から食中毒防止の観点から十分加熱するよう言われていること。
 - ・万一、ウイルスが付着していたとしても、インフルエンザウイルスは熱に弱く、**加熱調理で容易に死滅**すること。
 - ・万一、ウイルスが付着していたとしても、インフルエンザウイルスは酸に弱く、**胃酸で不活化**される可能性が高いこと。

- なお、CDC(米国疾病管理予防センター)は、豚肉を食べることにより感染するかどうかについて、「食品から豚インフルエンザウイルスは感染しません。豚インフルエンザは、豚肉や豚肉製品を食べることによって感染するものではありません。適切に取り扱われ、調理された豚肉製品を食べても安全です。中心温度71℃での豚肉の調理により、他の細菌やウイルスと同様、豚インフルエンザウイルスは死滅します。(仮訳)」としております。